工学部　建築学科　准教授
島津　勝　SHIMAZU　Masaru

新素材を取り入れた建築部材の開発

～建築部材および骨組の保有性能評価に関する研究～

キーワード

建築構造、部材性能、解析

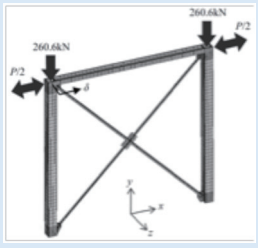
研究シーズ概要

建築部材および骨組の保有性能（変形・耐力等）に関する研究を行っています。

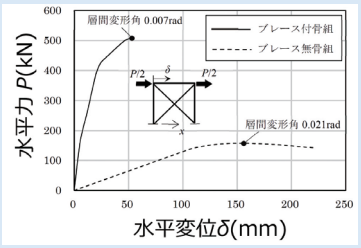
建築構造物の靱性を確保するためには、各種部材の塑性変形性能を明確にし、構造物に想定される地震外力に対して構成部材に適切な変形性能を保有させる必要があります。

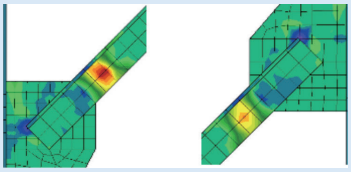
そこで、本研究室では各種部材の性能評価実験およびシミュレーションを行い、それらの力学性能を調べています。

鉄骨造骨組



解析モデル

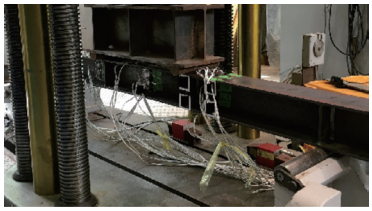




引張ブレース主ひずみ分布

利点・特長・成果

これまでに下記部材の性能評価実験、および骨組の数値シミュレーションを行っています。



H形鋼部材

RC部材

CLT部材

鉄骨造骨組

シミュレーションのためのソフトとして、ABAQUS、MARCおよびCALCULIXを使用しています。

その他の研究シーズ

■曲げ降伏先行型RC梁の履歴吸収エネルギーに関する研究

E-mail
shimazu@arch.sojo-u.ac.jp